

第3回鎌倉市高齢者保健福祉計画推進委員会（2023.5.24）意見・質問概要

議題	資料番号	項目	委員からの意見・質問	事務局の回答等
高齢者保健福祉に関するアンケート	1-2	回答者	住民基本台帳から無作為抽出で4,000人が対象者ということだが、3ページ集計結果の【お住まいの地域】の回答を見ると、あまりにもきれいに20%前後になっている。たとえば、5地域それぞれごとに800人の無作為抽出だときれいに分かれる可能性があるが、母集団（令和4年12月1日現在の要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の方）から無作為抽出だと地域ごとにばらつきが出そうな気がする。	お見込みのとおり、今回の高齢者保健福祉計画に関するアンケート調査は、厚生労働省が示す「日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」をもとに実施しており、日常生活圏域ごとに800人ずつを無作為抽出しています。
高齢者保健福祉に関するアンケート	1-2	Ⅱ集計結果 問1（2） 普段の生活で 介護・介助の必要性	「介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が5.3%とのことだが、必要なのに受けていないのは問題と思われる。なぜ現在受けていないのか分からないければ問題は解決しない。次回アンケートではなぜ受けていないのかを質問する必要があると考える。	次回のアンケート調査の際には、質問項目に加えることについて検討いたします。
高齢者保健福祉に関するアンケート	1-2	Ⅲ生活機能判定結果 介護予防のための 生活機能判定結果 （6）認知機能	「物忘れが多いと感じますか」の問いに対し「はい」と答えた場合、「認知機能では要介護状態等となるおそれが高い」と判定しているが、これは医学的な見解に基づく判定か。	厚生労働省が示す「日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査解説（設問の意図）」において、本設問により「認知機能が低下している高齢者」が判定できるとされています。表現の仕方については、改めて検討いたします。
高齢者保健福祉に関するアンケート	1-2	Ⅲ生活機能判定結果 介護予防のための 生活機能判定結果 （7）うつ	「この一か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか」、「この一か月間、どうしてもものごとに対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか」の問いに対し「はい」と答えた場合「うつでは要介護状態等となるおそれが高い」と判定しているが、これは医学的な見解に基づく判定か。気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることは、誰でもよく経験することのように思える。	厚生労働省が示す「日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査解説（設問の意図）」において、本設問により「うつ傾向の高齢者」が判定できるとされています。表現の仕方については、改めて検討いたします。

第3回鎌倉市高齢者保健福祉計画推進委員会（2023.5.24）意見・質問概要

議題	資料番号	項目	委員からの意見・質問	事務局の回答等
高齢者保健福祉に関するアンケート	1-3	交通・移動手段	横浜市のようにバスの乗車証があった方が良いという意見に同感。免許返上するとバスの利用が必須となる。市の取組を伺いたい。	【現在の取組】 65歳以上で運転免許証を自主返納した市民、又は運転免許証が失効した市民を対象に、高齢者向けのバス乗車証やタクシーの利用料金に利用できる年間2,000円分の助成券を最大で2年間交付する事業を実施しています。
高齢者保健福祉に関するアンケート	1-3	交通・移動手段	近隣他市での現状（交通に関する補助）を知りたい。鎌倉市での補助は先々もないか。	全ての高齢者に対する一律の交通費補助を継続して実施していくことは、考えていません。高齢者の外出支援の在り方については、今回のアンケートの結果も参考に、外出機会の創出や生きがい・健康づくりの観点も含め検討してまいります。 【近隣市の状況】 ・横須賀市…京浜急行バスとの共同企画で、70歳以上の方を対象に市内路線バス6箇月乗り放題のバス「はつらつシニアバス」を発売。 ・逗子市…70歳以上の非課税の方を対象に、京浜急行バスが販売する「ふれあいバス」の購入費を一部助成。ただし、運転免許証を返納した場合は課税の方も1回のみ対象。（令和5年度から） ・葉山町…70歳以上の方を対象に、京浜急行バスが販売する「ふれあいバス」の購入費を一部助成。
高齢者保健福祉に関するアンケート	1-3	介護保険サービス・福祉への要望・不満	情報がインターネットに偏り過ぎている印象。台風の時、午後を休みにする連絡をTwitterで知らせたやすらぎセンターの件。	—
高齢者保健福祉に関するアンケート	1-3	行政への要望・不満	ゴミの戸別収集の実情を知りたい。	所管課へ確認のうえ、後日回答します。
高齢者保健福祉に関するアンケート	1-3	感謝	老人福祉センターの草取り等の清掃を職員でやっている。	—

第3回鎌倉市高齢者保健福祉計画推進委員会（2023.5.24）意見・質問概要

議題	資料番号	項目	委員からの意見・質問	事務局の回答等
高齢者保健福祉に関するアンケート	1-3	情報提供に関する要望	ホームページを見ることができない高齢者が多いのではないか。（高齢者へのPRが少ない）	今回の高齢者保健福祉に関するアンケートにおいて、スマートフォンを利用していると答えた方は全体の77%であり、そのうち、インターネットの機能を利用していると答えた方は65.5%でした。 今後、年齢によるクロス集計を行い、より詳細に分析してまいります。
高齢者保健福祉に関するアンケート	1-3	本アンケート	対面で話したい。話を聞いてくれるスペース、人員が欲しい。	—
高齢者保健福祉に関するアンケート	1-3	生きがい・楽しみ	寺社で有料にしているところが多いと思う。鎌倉の住民として寺社巡りは高齢者にとっての楽しみ。福寿手帳の意義を関係者に伝え、有名無実化しないようお願いしたい。	【現在の取組】 令和5年度は、福寿手帳（カード）の提示で優待が受けられる施設や店舗を掲載したマップを新たに作成する予定です。マップの作成に合わせ対象施設・店舗数の拡大を図りたいと考えています。
高齢者保健福祉に関するアンケート	1-3	生きがい・楽しみ	「年齢を超えた行事」の計画に内容的に無理があるのではないか。	—
高齢者保健福祉に関するアンケート	1-3	就労	就労機会の充実に同感。今後、特に力を入れてほしいのは頭脳労働。家庭教師、寺社ガイド、講演会講師など。収入を得たい高齢者は多いと思う。	【現在の取組】 高齢者の就労機会を提供するシルバー人材センターへの支援のほか、高齢者の方が経験を活かした仕事を見つけるための相談・各種情報提供や合同就職説明会等の案内を実施しています。
高齢者保健福祉に関するアンケート	1-3	就労	「企業紹介」の実情はどうなっているか。	【現在の取組】 高齢者の就労機会を提供するシルバー人材センターへの支援のほか、高齢者の方が経験を活かした仕事を見つけるための相談・各種情報提供や合同就職説明会等の案内を実施しています。

第3回鎌倉市高齢者保健福祉計画推進委員会（2023.5.24）意見・質問概要

議題	資料番号	項目	委員からの意見・質問	事務局の回答等
介護保険に関するアンケート	2-2	回答者	要介護認定を受けた方が聞き取り調査の対象であり、あえて聞く必要がないという理解でよいか。要介護ごとのニーズの違い、地域ごとの違いなどはあまりないという理解でよいか。	地域別のニーズについては、例えば地域によっては移送サービスや買い物、ゴミ出しのニーズが多い等の違いはあると思いますが、C票に設定できる質問数の関係から回答項目にお住まいの地域を設定していないため、本調査項目の分析によりその傾向を把握するのは難しいと考えます。しかし、要介護度別のニーズの違いは本調査項目の分析によりその傾向を把握できるのではないかと考えており、このような分析をこれからも必要に応じて行い、今後3年間の介護保険サービスの総体的な在り方を検討してまいります。
介護保険に関するアンケート	2-2	Ⅱ集計結果 問5 主な介護者の方の年齢	主な介護者の年齢について、今回の調査では、ヤングケアラー問題は喫緊の課題ではなさそう。市では「ケアラー支援条例」の制定に向けて取組を進めているようですが、可能な範囲でいいので状況を伺いたい。	ケアラー支援条例については、令和4年度から、庁内検討委員会（部長級）、庁内検討部会（課長級）において検討を進めており、支援関係者や有識者等へのヒアリング、教育部局との意見交換、パブコメなどを経て、令和5年度中の制定を目指しているところです。 近年、少子高齢化や核家族化の進展、共働き世帯の増加、家庭の経済状況の変化といったさまざまな社会の変化に伴い、こころやからだに不調のある家族の介護や援助等のケアについて、これまでは家族が中心となり無償で行うものとされてきた慣習を背景に、親族、友人その他の身近な人等のいわゆるケアラーに過重な負担が掛かっていることから、これらケアラーのうち、支援が必要な者について具体的な対応を図るため、「（仮称）鎌倉市ケアラー支援条例」を策定し、対象となるケアラー、ヤングケアラー等を定義したうえで、支援に関する基本理念や市の責務、施策等を定めてまいります。 なお、問5はあくまでも65歳以上で要支援・要介護認定を持つ方の介護者の年齢であり、この条件に当てはまらない方の介護者の情報は含まれていないため、この設問のみでヤングケアラーに関する状況を把握するのは難しいと考えます。
介護保険に関するアンケート	2-2	Ⅱ集計結果 問10 施設などへの入所・入居の検討状況	「施設等への入所・入居は検討していない」が、74.9%と非常に多くなっている。入所・入居が必要ないと考えているのなら問題ないが、そうであるのかわからないか不明確。次回アンケートでは、なぜ検討していないのかを質問したらよいのではないかと。	次回のアンケート調査の際には、質問項目に加えることについて検討いたします。

第3回鎌倉市高齢者保健福祉計画推進委員会（2023.5.24）意見・質問概要

議題	資料 番号	項目	委員からの意見・質問	事務局の回答等
国の検討状況	3	②、③第9期介護保険事業（支援）計画の基本方針のポイント－見直しのポイント－ 1.介護サービスの計画的な整備	「・・・小規模型多機能居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護等の地域密着型サービスについて・・・」と記載されているが、「・・・小規模型多機能居宅介護看護、小規模多機能型居宅介護等の地域密着型サービスについて・・・」の誤りではないか。	「看護小規模多機能型居宅介護」は名称として正しく、「小規模型多機能居宅介護」は、正しくは「小規模多機能型居宅介護」でした。 訂正してお詫びいたします。
鎌倉市の高齢者を取り巻く状況	4	高齢・独居世帯	高齢者夫婦・独居世帯が他市と比べても全国的にも鎌倉は多いが、鎌倉市からの補助・予算を取っているか。特に旧市内は観光客も多く生活しづらい。	【現在の取組】 高齢者世帯や独居世帯への在宅支援として、次の事業を予算措置して実施しています。 ・配食サービスへの助成 ・緊急通報装置の貸出し
鎌倉市の高齢者を取り巻く状況	4	高齢者の居場所	今、「子どもの居場所」が話題になることが多いが、高齢者の居場所を教えてください。昼間、行き場のない高齢者が多くいるのではないかと。鎌倉市は実態を把握しているのか。	コロナによる外出制限などさまざまな理由から家に閉じこもりがちな高齢者が多くなっていることが、今回の調査からも見受けられます。地域包括支援センターや生活支援コーディネーターは、高齢者の居場所として地域のサロンを把握しており、相談があれば場所の紹介を行います。